

令和5年度事業計画（案）

1. 方針

一般社団法人地下水技術協会における事業活動の目的は「地下水に関する調査、研究並びに利用技術の向上と地下水に関する正しい知識の普及をはかる」ことにあります。地下水を適正かつ継続的に利活用するためには、地球環境や人口動態の変化に留意しつつ、新しい地下水探査技術の活用に加え、さく井技術やポンプ揚水技術を整備し、さらに総合化した地下水管理技術体系を確立して地下水の動態を探り、社会の発展と公共の福祉に資さなければなりません。

近年はコロナ禍にあり、協会活動が停滞しがちでした。昨年度の総会において、会長が交代し、新体制を築くことができました。講演会や講習会は予定通り実施できましたが、機関誌の発行は2回となり、会員各位にはお詫び申し上げます。会員相互のコミュニケーションの充実を図るため、今年度はさらに全国的な会員サービスを見据えて、DX計画を取り入れるなど、新しい発想で協会活動を充実させようと考えます。

令和5年度は、昨年に引き続き春の講習会、秋の講演会についてはその形態も考慮しながら開催していく所存です。また機関誌の安定的な発行と、タイムリーな「ニュースレター」の発行により、会員サービスの向上を目指し、会員及び準会員の拡大につなげたいと考えております。

2. 事業

上記方針のもと、以下の事業を行う。

- (1) 機関誌「地下水技術」と「ニュースレター」を発行する。個人ならびに会員企業の投稿原稿の拡充に取り組む。
- (2) 春季講習会として、「初級技術者のための地下水講座」の内容を、リモートで開催する。秋季講演会もリモート開催で計画する。
- (3) 協会ホームページの充実を図る。データベースを拡充し、閲覧サービスを充実させる。
- (4) 協会の事業を通じ、協会の認知を広めるとともに、会員サービスの向上と新規会員の獲得を目指す。
- (5) 準会員制度の広報を行い、準会員の獲得により協会活動の活性化を図る。